

「公明党と話が調った」朝日新聞でも報道 私立高校授業料の 実質無償化 保育士の給与補助も倍増



1月16日、東京都が、来年度から年収約760万円未満世帯の私立高校生の授業料を実質無償とすることを決めました。入学支度金貸付(無利子)の額も20万円から25万円に引き上げられます。

都議会公明党の主張が反映されたもので、朝日新聞(1月26日付)も、「ご要望のあった公明党と話が調った」と小池知事の言葉を報じました。都立高校授業料が年間11万8800円(16年度)であるのに対し、都内の私立高校の平均授業料は年間44万2000円(同年度)。現在、都は私立高校について年収910万円(目安)未満の世帯を対象に、国の就学支援金(所得

制限あり)に加え、世帯年収に応じて上乗せされる都独自の授業料軽減助成金(特別奨学金、所得制限あり)を実施しています。都は17年度から、都の助成金を増額することで、世帯年収約760万円(目安)未満の世帯が、国の就学支援金と合わせて計44万2000円を受け取れるようにします。都議会公明党は今後、さらに世帯年収910万円未満までの引き上げを実現していきます。

同じく都議会公明党が主張していた保育士の待遇改善についても、都は来年度から、保育士1人あたりの給与補助を倍増させることを決めました。

日頃より、都議会公明党に温かなご支援を賜り、誠にありがとうございます。

今月から、いよいよ本年1回目の都議会定例会が始まります。都議会公明党は3つの挑戦——(1)議員報酬削減など身を切る改革(2)教育負担の軽減(3)東京五輪に向けた人にやさしい街づくり——の実現を目指し、全力を挙げてまいります。そして、もっと魅力にあふれ、もっと暮らしやすい街・荒川へ。区議会公明党と心を合わせ、全身全霊で働いてまいります。



荒川総支部長
鈴木かんたろう



副総支部長
けいの信一

荒川区が「犯罪減少率、ナンバー1に！」(1~11月の統計)

平成28年の荒川区における犯罪件数が、前年と比較して16.1%減り、減少率が23区の中で第1位になりました。

区議会公明党としても、さまざまな防犯対策に取り組んできました。最近被害が多発している「オレオレ詐欺」などの特

殊詐欺。区議会公明党のはたらきかけによって、抑止効果があるといわれる電話の「自動録音機」の設置が決定。申し込みをすれば65歳以上の方がお住まいの世帯に、この自動通話録音機が無料で提供されます。



「保育園の待機児童0へ」公明党の取り組みをご紹介します



4月、新たに私立保育園3園がオープン!

「共働き子育てしやすい街」総合1位

2015年、日本経済新聞社と日経BP社「日経デュアル」が1都3県と全国主要都市計100自治体を対象に行った調査で「共働き子育てしやすい街」の総合ランキングで、荒川区は1位の評価を受けました。

荒川区は、保育に関わる保護者への支援として、多子世帯への保育料減免制度や、認可外保育所と認可保育所との保育料の差額を補助する制度を他の自治体に先駆けて実現。病児・病後児保育施設の整備、放課後児童事業の充実に加え、双子など多胎児がいる在宅の子育て世帯への支援策として、タクシー利用料や一時保育利用料の助成(ともに限度額2万円)など、多彩な支援策をそろえました。

2200人を超える保育定員を拡大

一方、保育の受け皿を拡充するため、保育施設の定員の増加も行ってきました。2004年度の荒川区の保育定員は3076人でしたが、16年度は5305人に拡大。認可保育所や東京都独自の「認証保育所」の新設、保育ママの増員などにより、これまで2200人を超える定員を拡大しました。

老朽化が課題となっていた私立保育所には、区が新たに取得した土地への移転・改築を支援。定員を拡大して新装開所にこぎ着けています。

全国初、公園に保育所

さらに、都市部の課題である保育所の用地確保で、荒川区が目にしたのが、国家戦略特区制度を活用した公園内保育所の整備。

現行の都市公園法では、公園内に設置できる施設はトイレやベンチ、遊具などに限られていますが、特区により、この規制が緩和され、都市公園内での保育所整備が可能となるのです。

荒川区は、特区制度の活用を国に申請し、**全国で初めて**認定されました。現在、都立汐入公園内に私立認可保育所の整備が進められ、本年4月に「にじの森保育園」が開所予定です。(公明新聞からの要約)

2017年4月開園予定の私立保育園

にじの森保育園

所在地：南千住8-13-1

定員：162名(0歳児から5歳児)

小台ここわ保育園

所在地：西尾久3-21-12 水島ビル2階

定員：60名(0歳児から5歳児)

東日暮里わんぱく保育園(仮称)

所在地：東日暮里3-9

定員：102名(0歳児から5歳児)



LaLaテラス前の自転車専用道路がより安全に! TOPICS

休日などは特に人通りが多くなる南千住・LaLaテラス前の歩道。このほど、「自転車専用道路の通行区分表示」の区画線が、濃く引き直されることが決まりました。2月中に実施される予定です。

この道は、自転車用と歩行者用の見分けが分かりづらく、毎日利用している方々から真摯なご意見・ご要望が届いていました。先日小中学生の自転車と歩

行者が接触。自転車でも、歩行者と接触すれば重大事故につながりかねません。

目撃した住民から「何とかできないか」と公明区議に要望が寄せられ、区に対策を要請してきました。

子どもや高齢者が安心して暮らせる街・荒川へ。これからも区民の皆さまの声をしっかりと区政に反映させていきます。

暮らしの相談窓口 お気軽にご相談ください。

☎03-3802-3111

内線 3636・3637

荒川区役所5階 公明党控室

都議会議員 鈴木かんとろう

区議会議員 保坂正仁 菊地秀信 松田智子
森本達郎 吉田詠子 中村尚郎